



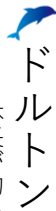
天草市御所浦

恐竜の島博物館 リニューアルオープン

3/20

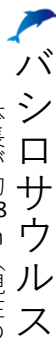


また、現在のイルカやクジラに近い見た目になってきたのが、3千万年前で、ヒゲクジラと歯クジラに分化した頃とされています。その後も進化を続け、現在の姿となりました。驚くべきことに、現存するもつともちかい仲間は**カバ**といわれています。



ドルトン

体長が約5m（現在のコビレゴンドウほどの大きさ）



バシロサウルス

体長が約18m（現在のマッコウクジラほどの大きさ）

というわけで、今回はイルカの祖先（むかしの姿）についての解説です。天草の野生イルカはミナミハンドウイルカという種類で、歯クジラ類に属しています。祖先は、もともと陸生哺乳類であり、それが海に入ってから**ムカシクジラ（5千万年前）**と呼ばれるようになります。そのなかで、よく知られているのが、

いよいよ天草の目玉のひとつである恐竜の島博物館が開館となります。恐竜の骨格はもちろん大きなレプリカなども展示され、迫力満点間違いなし！化石を、しかも島内では必ず!?化石を発見できるという採掘体験も気軽に楽しむことができます。



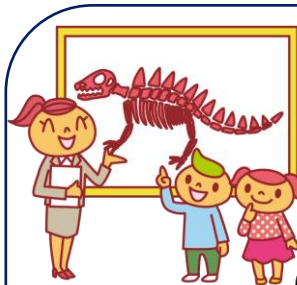
天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業

facebook



やってるよ!



恐竜の島にはフェリーで行くことができます



はくつ かせき
発掘や化石に
詳しい学芸員が
常駐しています



Amakusa SDGs

記事や活動についてのお問い合わせ



天草イルカ調査室



amakusa_dolphin



検索